



筑波大学メールマガジン“ペデジャーなる” 2017年5月-春号

—OB・OGと学生を結びながら、懐かしさと新しさ香る筑波の風を季節の便りとしてお届けしていきます。

INDEX

1. 筑波大学での昼食に新たな選択肢／吉永真理
キッチンカーをレポートしました。
2. アンダーアーマー筑波大学店 OPEN！／助川まりえ
この春できたばかりのスポーツ用品店をご紹介します。
3. 筑波大学付近の書店／前名裕一
筑波大学の近くに残るおしゃれな大規模書店。
4. ダッチベイビー、つくばに上陸／深作歩美
つくばもだんだんおしゃれになっています。
5. 人生は予測できないから面白い 畑直行さん／徳永翼
映像制作が趣味の畑さん（国際3年）のキャンパスライフに突撃。
6. 国営ひたち海浜公園、ネモフィラ／金久保響子
丘一面に広がるネモフィラの景色をご紹介します。
7. 大学新聞の取材で感じたこと／越智小夏
心に残った先生の話。
8. 上野・科学博物館で命の始まりに迫る／添島香苗
私が研究している「発生生物学」を少しだけご紹介します。



1 筑波大学での昼食に新たな選択肢



こんにちは。今年から編集員になりました生物学類2年の吉永真理です。

今回は今年度から学内に導入されたキッチンカーについてご紹介します。キッチンカーは第一エリア、体芸エリア、医学エリア、春日エリアの計4箇所があり、平日の10時~14時の間、お弁当や軽食を販売しています。エリアごとに2店舗ずつ出店され、ホットサンドやたこ焼き、クレープなどのお店が日替わりで営業しています。昨年の秋に試験営業していたのですが、好評のため今年度から正式に営業が決定されたようです。

ということで早速行ってみました！



4月下旬の金曜日の昼休み、松美池前のキッチンカーです。この日は「ボヌール」というローストビーフ丼のお店と「リッツ Café」というハヤシライスのお店が出ていました。昼休みが開始して間もない時間ですが、すでに人の列ができています……。私も並んでローストビーフ丼を購入しました。注文するとキッチンカーのお兄さんがその場で盛り付けてくれます。お兄さんの丁寧な作業を下からずっと眺めてしまいました。

ここで昼食を買って松美池を眺めながら昼食をとる人も多くいます。春らしく過ごしやすい気温でこの日は風も少なく、外でローストビーフ丼を食べるにはもってこいの日でした。

いざ食さん。



蓋を開けると、ご飯の上にローストビーフとレタスが乗り、タレとマヨネーズがかかっています。これで500円。お肉は6枚ほど入っており、とても美味しかったです。高級な味がしました。盛りたてなのでご飯も熱々でタレがよく絡まります。

いつもは食堂のご飯や弁当を食べていますが、食堂とほぼ値段も変わらず特別感を味わえました。新歓期の終盤だったためか松美池の前では桐斬舞がソーラン節を踊っており、その音を聴きながらローストビーフ丼を食すという何とも風流な昼休みになりました。

3限に授業が無かったため、体芸エリアのキッチンカーにも行ってみました。そこではホットサンドのお店「ほっとさんどアカデミー」が出店しており、フレンチトーストを注文しました(300円)。注文後にパンを焼くため、待っている間お店の女性に筑波大生の印象を聞いてみると「みんな若々しくて可愛い」とのこと。その場で食べてリアクションをすることで賑やかな様子を見ると元気が出るそうです。良かった。さらに、出店する場所によって学生の印象が変わるのも面白いそうです。「体芸エリアは、体専の男子学生が多くご飯を大盛にして、それをペロリとたいらげていく。第一エリア(松美池前)は逆に女の子が多い。」と話して下さいました。

そうこうしているうちに焼きあがったフレンチトースト。焼きたてのパンのいい匂いが

します。パンの中にハチミツが染み込み、噛めば噛むほど甘さが口に広がりました。お店の方にまた来ますと約束し、見送られながら次の授業に向かいました。

キッチンカーで食べたのはこの日が初めてでしたが、お店の方との距離が近いこと、その場で盛り付けたり焼いたりするので出来立てを食べられること、がとても良いと思いました。灼熱の夏や極寒の真冬でなければ野外で食べるのも気持ちがいいです。日ごとにお店が変わり様々なメニューがあるため、それらをコンプリートすべくこれからの昼食にキッチンカーという選択肢を増やしたいと思います！

長くなりましたが最後まで読んでいただきありがとうございました。

(生命環境学群生物学類2年 吉永真理)

2 アンダーアーマー筑波大学店 OPEN!



2017年4月19日、筑波大学の大学会館別館ホールに新しいお店がオープンしました！大学会館別館ホールとは、大学会館の向かい側にある、丸善や郵便局などが入った建物を指します。そこに新たに加わったお店、それが「アンダーアーマー POP-UP STORE 筑波大学」です。この春オープンしたての話題のスポーツ用品店に筆者も早速足を運んでみました。



(↑お店の外観。アンダーアーマーのロゴが目印)

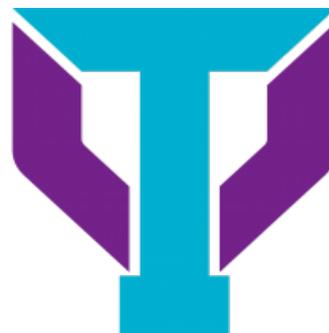
「アンダーアーマー POP-UP STORE 筑波大学」では、米国のスポーツ用品メーカーアンダーアーマー (UNDER ARMOUR) と筑波大学がコラボしたライセンス商品などを販売しています。お店の入り口には、見覚えのあるアンダーアーマーのロゴマークが掲げられています。

そもそも昨年11月、筑波大学がアンダーアーマーの日本総代理店である株式会社ドームと、大学スポーツの産業化などを目指して包括的パートナーシップ協定を締結した、ということをご存知でしょうか (筆者は全く知りませんでした)。その協定の一環として、筑波大オリジナルのスポーツエンブ

レム（下記の画像参照）が策定されたのですが、それをプリントしたTシャツやタオルなどのグッズを購入できるのは、このお店だけです！

実際にお店に入ると、白や黒といったオーソドックスな色のグッズが並ぶなか、オリジナルエンブレムにも用いられている明るい水色の商品が目を引きます。この水色は“つくばブルー”、“フューチャーブルー”などと呼ばれ、筑波大のラグビー部や硬式野球部など現在全8チームのユニホームカラーとして設定されています。

お店の方に伺ったところ、一番人気の商品はエンブレムと大学ロゴがデザインされた“つくばブルー”のタオル（¥2,500+税）とのこと。お土産や応援グッズとして購入する方が多いのだとか。その他には、職場でもクールビズとして着用できそうなポロシャツ（¥5,000+税）、女性向けに袖が少し短めのデザインとなっているロゴTシャツ（¥4,000+税）などが売れ筋だそうです。



UNIVERSITY OF
TSUKUBA

（↑スポーツエンブレム）

アンダーアーマー製の質の高いスポーツ用品なので、特にスポーツをするわけでもない貧乏学生の筆者にとっては少々手が出しにくい価格帯ですが、高性能なブランド物スポーツ用品の相場から考えれば妥当なお値段と言えます。さらに、学生や職員の方であれば学生証・職員証の提示で表示価格より20%割引になります。これはお得ですね！



（↑店内の様子）

2020年の東京オリンピックには、筑波大学の体育会からも多数のオリンピック選手が輩出されるのではないのでしょうか。そんな日本トップレベルの選手たちを、お揃いのグッズを身につけて応援すれば普段スポーツをする方もしない方も、より一体となって盛り上げられること間違いなしです！OB/OGの皆さまも筑波大学を訪れた際には是非この「アンダーアーマー POP-UP STORE 筑波大学」に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

<営業時間>

午前 10 時～午後 7 時

<定休日>

土日・祝日（大学のイベント時には臨時営業の予定あり）

<参考 Web ページ>

<http://www.tsukuba.ac.jp/%E3%82%AB%E3%83%86%E3%82%B4%E3%83%AA/n201704101810.html>

（人文・文化学群比較文化学類 4 年 助川まりえ）



3 筑波大学付近の書店



昨年 2 月に大学近くの桜地区などにあった友朋堂書店が閉店してから 1 年以上が経ちました。また、松見公園近くで営業していた学園都市古書センターも知らぬ間に閉店するなど、筑波大周辺の書店の減少が進んでいます。ですが、少し足を延ばせば書店に巡り合えるのも確かです。

今回、私はつくば駅から土浦学園線を西に歩いて 20 分ほどの場所にあるショッピングモール「LALA ガーデンつくば」内にある「TSUTAYA LALA ガーデンつくば」に行ってきました。そこには大量の書籍に加えて、文具やゲームソフト、レンタル DVD などたくさんの品物があり、時間を忘れて楽しむことができます。店内にはカフェも併設されており、コーヒーなどを飲みながら買った本を読むだけでなく、カフェでコーヒーを買い、店内の雑誌なども自由に読むこともできます。また、落ち着いた色合いの壁や棚がおしゃれな雰囲気をかもしだしています。

私もコーヒーを飲みながら本を読もうと思いましたが、財布の中が寂しかったので泣く泣く断念しました。またお金を用意して来ようと思います。見て回っているとさっそく買った本を手にコーヒーなどを飲んでいる方がたくさんいました。このような書店が筑波大の近くにもあったら良いなと思いながら店内を回りました。

SNS などでは「研究学園都市なのに大学や駅の付近の書店が少ないのはいかがなものか」との意見が時折見られます。実際、現在大学および駅の付近にある書店は駅前のショッピングセンター「クレオ」内にあるリブロや大学内の書籍部のみです。リブロはかつて西武筑波店内にありましたが、今年 2 月に西武が閉店した後は場所を移し営業を継続しています。し

かし西武内で営業していたころよりも売り場面積が小さくなったと聞きます。ここにも足を運んだところ、確かに小さな場所で静かに営業しており、品ぞろえはお世辞にもよいとは言えませんでした。

現在大学や駅周辺に新たな書店ができるとの情報はありません。大学から少し足を延ばせば今回紹介したような大規模な書店がありますが、徒歩や自転車で気軽に行ける距離にも必要だと思えます。

(社会・国際学群社会学類3年 前名裕一)

4 ダッチベイビー、つくばに上陸



皆さま、いかがお過ごしでしょうか。筑波大学は新入生に溢れ、空気中の幸せ密度が高まっています。後輩は新歓に力をいれているようです。4年生の私は、卒業研究や就職活動、大学院入試などを控える私は、遠くから応援しています。

今回は、ダッチベイビーについてご紹介します。ダッチベイビーとはオープンでじっくり焼き上げたドイツ風のパンケーキのことです。通常のパンケーキ生地ではなく「ジャーマン生地」という卵をふんだんに使用した生地を使用します。日本には2013年に上陸しました。

ダッチベイビーは東京の銀座や渋谷などにある数店舗でしか食べることはできませんでしたが、今年からダッチベイビーがつくばでも食べられるようになりました！つくば市も少しずつおしゃれになっていくんですね。高校生の時からずっと食べたいと思っていたので、お店を訪れてみました。ダッチベイビーが食べられるのは「jicca」というお店です。「実家にいるようにくつろいでもらいたい」という思いを込めて店名をつけたそうです。

今回頼んだのは、「ゴロゴロ野菜とチキンのキノコクリーム」(750円)と「とちおとめのストロベリッチ」(750円)という2つのダッチベイビーです。ダッチベイビーの生地の食感は不思議な感じでした。シュークリームの皮のようにサクサクしているのですが、卵がたっぷり入っているのでフワフワしています。パンよりも満腹感が得られ、腹持ちも良かったです。



「ゴロゴロ野菜とチキンのキノコクリーム」は名前の通り野菜が大きくて、チキンもたっぷり入っているので、食べごたえは十分です。女子向けの味ですが、男性でも美味しくいただけると思います。

「とちおとめのストロベリッチ」は冷たいアイスと暖かい生地の相性が最高でした。ベリーもたくさん入っていて相性は抜群でした。食事には甘いけど、おやつには量が多すぎる……という感じなので、甘いものをお屋に出来る甘党の人にお勧めです。



美味しいダッチベイビーを食べたら、店名の通り、実家に帰ったかのように癒されました。卒業研究で憂鬱になっていた気分も晴れました。卒業研究や進路で落ち込んだら、また癒されに来ようと思います。

みなさんも、つくばにいらっしゃった際はぜひ訪れてみてください。

CAFE & RESTAURANT jicca
茨城県つくば市栗原 3890-1
TEL・FAX 029-869-5699
Lunch Time 11:00~15:00 (LO. 14:30)

Tea Time 15:00~17:00

Dinner Time 18:00~22:00(日曜 21:00 まで)

定休日：月曜日

(生命環境学群生物資源学 4 年 深作歩美)

人生は予測できないからおもしろい

5 畑直行さん



学内を南北に走るペDESTリアンデッキ。筑波大では春の季語だ。新しい環境に身を置いたばかりの新入生。その多くは宿舎やアパートから、松美池に咲く桜の眩しさや兵太郎池にそよぐ緑葉に気を取られながら教室に向かう。帰りには自転車の渋滞に辟易しながら、上級生にサークルのピラを手渡される。学群生だけでも約1万人。果てしない出会いがそこには待っている。畑直行さん(国際総合学類3年)も3年前、好奇心を抱いて飛び込んだ。

昨年12月に動画サイトで「起きて30秒で松屋」を公開。自宅のベッドで起床してすぐ、牛丼屋の券売機の前にいるというものだ。友人らからは「面白い」「意味が分からない」と反響があった。

元々映像制作が趣味。短いものから長いものまで2年半で30以上の動画を作成した。時には知り合いから頼まれ動画を作ることも。蹴球部の部員が自分のプレーを監督にアピールする動画や彼女の誕生日に贈るメッセージ動画など種類は多岐に渡る。

大学に入学してから入ったサークルはのべ10個以上。旅行サークルやスポーツサークル、国際問題を研究するものに、テコンドー、映画制作、音楽サークルと幅広い。「飽きっぽくてつまみ食いが好きなので基本的に深入りはしないが、日常の中に常に新しい世界を置きたい」とその意図を話す。

普段は国際総合学類で学ぶが、他学類の授業も積極的に受講。分野は人文学類や心理学類、体育専門学群など多様で、過去には授業内で粘土を使って造形をしたり、野菜や映像などを作ったりしたことも。

あふれる好奇心がその行動の原動力だ。「起きて30秒で松屋」には自分の生き方を隠れたメッセージとして込めた。「朝起きた瞬間はその30秒後に牛丼屋にいるなんて想像できない。1年後に何をしているかなんて分からないが30秒後ですら予測できないから人生は面白い」

来年にはコロンビアへ1年間留学することも考えている。「予測できないからこそ怖い部分はあるが、だからこそ人生は面白い。先が簡単に予測できる人生は自分には刺激が足りない」1年後、彼は何を考え、何をしているのだろうか。

(人文・文化学群日本語・日本文化学類3年 徳永翼)

6 国営ひたち海浜公園、ネモフィラ



読者の皆さま、昼間は上着のいらぬ陽気となってきましたがいかがお過ごしでしょうか。筑波大学では、五月病のせいか大学内を歩き交う自転車の数が減ってきたような気がします。ところで、GWはどこかへお出かけになりましたか。私はネモフィラで有名な国営ひたち海浜公園に行ってきました。作部の春号でもひたち海浜公園に関する記事は掲載されていましたが、今回はまた別の視点でご紹介したいと思います。

ひたち海浜公園は茨城県ひたちなか市にあります。筑波大学から車で1時間ほどのところですが、ここには多様な種類の花畑がある他に、観覧車やジェットコースター、自転車の貸し出しなど様々なレジャー施設が揃っています。その中でも有名なのが「みはらしの丘」というエリアに咲くネモフィラというお花です。ネモフィラは4月中旬から5月上旬が見頃です。1つ1つは小さな青い花ですが、丘一面に咲いていると丘が真っ青に染まり、絶景となります。特に天気の良い日は、青い空と青い丘がどこまでも続いているように見え、とても綺麗です。私がひたち海浜公園に行ったときにはちょうどチューリップも見頃で、かわい



いチューリップ畑を見ることができました。



ひたち海浜公園のみはらしの丘は日本最大のネモフィラ畑です。この公園は日本国内だけではなく世界からも注目されています。そのため、見頃がGWに重なるということもあり、GWにはネモフィラを一目見ようとそれはもうたくさんの方がひたち海浜公園を訪れます。1枚目の写真でお分かりになると思いますが、みはらしの丘にある小道は人で埋め尽くされてしまいます。また、ひたち海浜公園にたどり着くまでの道も激混みです。GW中は駐車場に入るだけで2時間並ぶということも普通だそうです。美しい景色を見る代償に、人混みと多少の日焼けを我慢しなければなりません……。それでも、この景色を見に行く価値はあると思います！ 人混みや交通渋滞をできるだけ避けたい方は、朝早くに行ったり公共交通機関を使ったりすると良いかもしれません。

ここまで、ひたち海浜公園のネモフィラをご紹介いたしました。この記事が皆さまの手元に届く頃にはもうネモフィラの見頃は終わってしまっていると思いますが、ぜひ来年のGWにひたち海浜公園まで足を伸ばしてみてください！ 読んでくださりありがとうございました。

国営ひたち海浜公園ホームページ

<http://hitachikaihin.jp/hana/nemophila.html>

(人文・文化学群比較文化学類4年 金久保響子)



7 大学新聞の取材で感じたこと



年に7回、12面構成で発行している筑波大学新聞をご存知でしょうか。わたしは今年の5月から、記者として活動しています。部員は大学の職員やサークル活動をしている学生、さらにはつくば市民など、さまざまな人に取材をしにいきます。今回は、このような多くの人々に取材をして、印象に残った人の言葉や、わたし自身が感じたことについて紹介しようと思います。

今年の3月、筑波大学を定年前に退職される、M先生に取材に行きました。定年を待たずに退職する理由や、筑波大に対する先生の思いについて聞きに行くためです。M先生の専攻は、アメリカ史と英米文学。私自身は先生の授業を受けたことはありませんでしたが、学生のことを真剣に考えて行われる、厳しいけれどもためになる授業が人気で、学生からの支持が非常に高い先生でした。

取材では、先生の「教育」にかける情熱や、現在の筑波大に対する意見などさまざまなお話を伺い、取材もそろそろ終わりに近づいたころ、逆に先生から質問を受けました。

「あなたは文章を書き、それを新聞で伝えることに、どんな責任を負っていますか」。

思わず言葉に詰まる私に、先生は自分の生い立ちの話をしてくださいました。祖父が有名な戦争画家であったこと、そのことに対する自らの責任として、戦争画家について研究し、その成果を発表したこと……。

先生の話は、自分の胸に深く刺さりました。記者として活動し始めた当初は、取材相手の言葉や思いを尊重し、真実を正しく伝えることに、考えすぎて胃が痛くなるほど気を使っていました。しかしだんだんと新聞の仕事を覚え始め、「こなす」ようになってしまっていました。活動を始めた当初はあんなに気を使っていたのに、答えることができないことに自分が情けなくなりました。

私は、大学では文化や思想について学んでいます。フィールドワークなどの調査を行い、授業などで自分の研究成果を発表することも多いです。対象となる人がいて、知ったことを誰かに伝えるという点において、新聞も学問も、本質は変わらないのではないかと思います。

「伝えることに、どんな責任を負っているか」。あの時の先生の質問に、まだ答えることはできません。それでも、自分を恥じることの無いように精一杯真摯に取り組むことで、いつか自分なりの責任を見つけられたらなと思います。

(人文・文化学群比較文化学類2年 越智小夏)



8 上野・科学博物館で命の始まりに迫る



ネズミにニワトリ、そして私たちヒト。どんなに複雑な体をもつ生き物も、その命の始まりはたった一つの受精卵でした。母親の体の中で、私たちの神経や骨、腸などはどうやって作られたのでしょうか？ このような、個体発生のしくみを解き明かそうとする学問を「発生生物学」と呼びます。私が今、筑波大学の大学院で研究している学問です。

発生生物学のこれまでの歴史や、最先端の研究を紹介する企画展「卵からはじまる形作り～発生生物学への誘い～」が、上野の国立科学博物館で開催されています(6月11日まで)。展示には筑波大学の先生方も深く携わっており、私も少しだけお手伝いさせていただきました。今回は、この企画展の様子をみなさまにお届けしたいと思います。

■視覚で学べる展示

企画展の内部は14のゾーンに分かれています。順番に見ていくことで、発生生物学の基礎から最先端まで網羅できる構成になっています。

展示の大きな特徴は、模型や映像などを目にしながら視覚的に学べることです。例えば、zone 2「あなたの体はこうやってできた」では、発生が進む段階ごとにニワトリの標本が並んでおり、腸管や脳が少しずつ作られていく過程を追うことができます。また、発生生物学



界の第一線で活躍している研究者たちが、実際に実験している様子を映像で見られます。大人はもちろん、お子さんもきっと飽きずに楽しめますよ。



(写真上) 会場の入り口はニワトリの6日目胚の大きな写真が目印です(下) 会場は幅広い世代の方で賑わっていました

■体づくりのマスター遺伝子 *Hox* 遺伝子群

私のおすすめの展示は、zone 3で紹介されている「*Hox* 遺伝子」です。これは、動物の脚や触角、目などの適切な数と配置を決めている遺伝子です。*Hox* 遺伝子の変異したハエでは、触角になるべき部分に脚ができるなどの異常が生じることが知られています。

Hox 遺伝子は、私たちの体を支えている背骨の形成でも働いています。背骨を細かく見ていくと、頭を支える首の骨は頸椎、胸の骨は胸椎、腰の骨は腰椎と呼ばれ、それぞれ形や機能が異なります。これらの骨の区分けや数、違いを生み出すのも *Hox* 遺伝子の働きなのです。

例えば、とても長いキリンの首も、頸椎の数は私たちと同じでたったの7個。これも、哺乳類の頸椎の数が *Hox* 遺伝子で決められているためです。会場ではイラストや写真を見ながら、*Hox* 遺伝子について更に詳しく知ることができますよ。

発生生物学は、私たちが等しくもつ生命や体の謎を扱います。そのため、普段科学に縁のない人でも、比較的身近に感じられる学問なのではないかと思います。この記事や企画展を通して、少しでも面白いと思っていただけたら幸いです。

開催概要

* 場所：国立科学博物館（東京・上野公園）

日本館1階 企画展示室・地球館1階 オープンスペース

* 期間：2017年4月4日（火）～6月11日（日）

* 時間：午前 9 時～午後 5 時

※金・土曜日は午後 8 時まで。入館は各閉館時刻の 30 分前まで

* 休館日：毎週月曜日。6 月 5 日（月）は開館

* 入館料：一般・大学生 620 円（20 人以上の団体は 310 円）

高校生以下・65 歳以上 無料

* 主催：国立科学博物館、日本発生生物学会

（生物科学専攻博士前期課程 1 年 添島香苗）



・『編集後記』

ペデジャーなる読者の皆様、こんにちは。今年度の編集長を務めます、比較文化学類 4 年の助川です。未熟者ですが、これから一年間どうぞよろしくお願い致します。

さて、ペデジャーなる春号、お楽しみ頂けましたでしょうか。今年度はなんと 4 人もの新メンバーを迎え、全 9 人でお届けしていきます。今回は春号ということで、筑波大学内外で話題のスポットをたくさんご紹介しました。大学内にもキッチンカーなど新店舗が続々オープンし、この春は筑波大学にとってまさに“はじまりの季節”となりました。皆様にとってこの春は、どのような季節でしたでしょうか。私個人の話をする、先日ついに念願叶って大学近辺の某人気パンケーキ店に行くことができたのですが、喜びもつかの間、最近の流行は今回の記事にもあった「ダッチベイビー」だそうで……。時代についていくのは大変ですね。大学卒業までに行ってみたいスポットがどんどん増えてしましますが、それもペデジャーなる編集の一つの醍醐味かもしれません。

また今号では、そうした話題のスポット紹介に加えて、学生一人一人の日々の活動について触れる記事もありました。読者の皆様に少しでも、筑波大生のリアルな“今”をお伝えできていれば幸いです。

最後になりますが、今号の編集作業に携わった編集部員、事業開発推進室の皆様、そして記事を読んでくださった全ての方々に深くお礼を申し上げます。今年度もペデジャーなる編集部では、学生ならではの目線を活かし、筑波大学に関連する情報を楽しく発信していけるよう一同邁進していきますので、応援よろしくようお願い致します。

（人文・文化学群比較文化学類 4 年 助川まりえ）

お知らせ

<「ペデぶろぐ」について> ペデジャーなるのブログを開設しています。投稿内容は「ペデジャーなる」の配信に関するお知らせやミーティング風景などなど。「ペデジャーなる」をもっと身近に感じていただけたらと思います。また、ペデぶろぐには連絡フォームもございますので、気軽にご要望や感想も送信することができます。

「ペデジャーなる」とともに「ペデぶろぐ」もよろしく申し上げます。

<http://pedejournal.blogspot.jp/>

●筑波大学のいろいろな取組みのご紹介

<「筑波大学カード」について>

平成 27 年 4 月 1 日から筑波大学公式クレジットカード「筑波大学カード」事業がスタートいたしました！インターネットからもお申込みいただけますので卒業生の皆様もぜひご利用ください！



- ・ 利用金額の一部が筑波大学基金へ寄附
- ・ サービス協力店舗での優待

詳しくは、<https://alumni.tsukuba.ac.jp/cashcard.html>をご覧ください。

<寄付型クラウドファンディング「南極望遠鏡」建設プロジェクトへの皆様のご協力をお願い致します。>

「南極望遠鏡」建設プロジェクトに向けて、広視野超伝導電波カメラ開発のためのプロジェクトです。

行方不明の星たちを探すカギに遂に辿り着く。銀河誕生の謎に迫る



筑波大学の宇宙観測グループは、「南極望遠鏡」建設プロジェクトに向けて、広視野超伝導電波カメラを開発する資金調達のため、平成29年4月18日（火）よりクラウドファンディングのプロジェクトを開始しております。本プロジェクトは、寄附型クラウドファンディングサービス「Ready for Charity」を活用し、6月30日（金）23時まで目標金額1,000万円の達成を目指します。

筑波大学HP <https://www.tsukuba.ac.jp/news/n201704181000.html>

<「筑波大学フューチャーシッププレミアム～ふるさと納税大学版～」について>

◆ 制度内容

対象者…… 筑波大学基金へ以下の金額のご寄附をいただいた方(前年度寄付分)

個人 3万円以上 企業 10万円以上



※写真は今年度の商品の例

<「筑波大学アリアンサエステートコーヒー」について>

今回の記事にも掲載されていますがネット販売も行っておりますのでぜひ下記 HP もご覧ください。

地域限定 サザコーヒーが大学と共同開発！
筑波大学
アリアンサ エステートコーヒー

「筑波大学アリアンサエステートコーヒー」
アーモンドやビターチョコの香りと風味。しっかりとした甘さが残る後味が印象的なコーヒー。

一杯のコーヒーとともに
懐かしき大学時代に
思いを馳せて・・・

筑波大学学長 永田 恭介氏 × サザコーヒー会長 鈴木 晋志男

筑波大学はグローバル戦略及び世界展開力の一環として、サンパウロオフィスを開設するとともに、ブラジル連邦共和国のサンパウロ大学、サンタ・クルス病院と協定を締結し、ブラジルにおける教職員、学生の研究・教育交流を深めています。

その記念として、サンタ・クルス病院の石川レナット理事長が所有するアリアンサ農園の香り高く、高品質のコーヒーを、茨城県に本社がある株式会社サザコーヒーと提携して、10月1日（土）よりつくば市内のサザコーヒー店舗にて販売しております。
また、サザコーヒーオンラインショップでも販売しております。

パッケージデザイン：原忠信（筑波大学芸術系准教授）

詳しくは、http://www2.enekoshop.jp/shop/coffee/item_detail?item_id=2138220をご覧ください。

・『おしらせ』

筑波大学 公式ホームページ：<http://www.tsukuba.ac.jp/>

筑波大学 facebook：<https://www.facebook.com/univ.tsukuba.ja>

筑波大学交流広場「KUTTUK ba」：<https://alumni.tsukuba.ac.jp/>

（筑波大学交流広場／筑波大学生涯メールアドレス 利用登録募集中!）

編集・発行：「ペデジャーなる」編集ワーキンググループ

デザイン・配信作業：国立大学法人筑波大学 事業開発推進室

ご意見・問い合わせ先：国立大学法人筑波大学 事業開発推進室

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1

TEL:029-853-2030 FAX:029-853-6576

gakuyu@un.tsukuba.ac.jp

配信停止をご希望の方

下記メールアドレス宛に『配信停止希望』の旨明記し、送信してください。

gakuyu@un.tsukuba.ac.jp

メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。

Copyright © 2014 University of Tsukuba. All Rights Reserved.